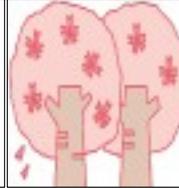


国公女性協 News

2010.3.29
NO.243

国公労連女性協議会
03-3502-6363
Emi I:mail@kokko.or.jp



での学習などを、各職場・地域
でとりくむことを確認しました。
厳しい情勢だからこそあらゆる

ところで「井戸端会議」をひら
き、仲間と連帯し、助け合い、
元気に奮闘しましょう。

女性運動はしゃべって 笑って継続を！ 女性協2010拡大代表委員会 開催

国公労連女性協は2月13日
～14日、都内で2010拡大
代表委員会を開催し、女性協の
2010春闘方針を満場一致で
決定しました。拡大代表委員
会は13単組、3ブロック15
国公からオブザーバー含め延べ
59名が参加し、熱のこもった
討論を繰り広げました。

討論では、各単組・ブロッ
ク県国公での女性組織のとり
くみや活動上の悩みなどが話
されました。「公共事業予
算削減の中で職場がなくなる。
」「職場に

余裕がなくなり、両立支援制
度があっても使えず若年者の
退職が増えている」「女性の
要求を大切にして活動を続
けている」と発言がある一
方、「役員交替がネックになり
県女性協が休眠した」「女
性協組織を連絡会体制に変
えた」など女性組織を維持
することの困難さについての
発言も目立ちました。その
中で「女性運動は、おしゃべ
りして、食べて、笑いながら、
やれる人がやれるときに。継
続することが大切。」との発
言に共感が広がっていました。

今回の拡大代表委員会には、
全建労・全港建から非常勤
職員の組合員も参加し、「自
分にできることすればいい
と思って加入。仲間といわ
れてうれしかった。」「非
常勤職員としてどれくらい
勤務できるか未定だが、

職員でいる間は組織拡大に
奮闘したい」など力強い発
言もあり、5月22日(土)～
23日(日)長崎市で行われ
る第40回国公女性交流集
会についても、九州ブロッ
クから実行委員会を立ち
上げ、集会成功に向けて奮
闘するとの決意表明があり
ました。

また、総理府労連からは「
5月のNPT再検討会議NY
行動に参加する。一人ひと
りが思いを持てば核兵器は
必ずなくせる」との発言
もあり、女性協代表でNY
行動に参加することが決ま
った北川優子さん(全建労)
からも発言がありました。

二日目には、全国一般から
「解雇撤回闘争などに奮闘
する女性たち」の話や全建
労から「公契約法制定に向
けて」、全厚生から「社保
庁職員の分限免職について」
特別報告を受けました。

最後に、今春闘、核兵器の
ない世界を求め、憲法改悪
に反対する署名のとりくみ
や母性保護や改正される
人事院規則等の学習や職
場での周知徹底、女性差
別撤廃条約や委員会勧告
につい

NPT要請行動に参加する理由

原水協がNPT再検討会議に
1,000人規模の動員をかけ
ると聞いた時、正直そんな
ことができるのかというの
と同時に、それが実現す
れば世界に向けて強くア
ピールできると思いま
した。誰もが戦争は嫌
だし、原水爆を行使す
ることは愚かだと分か
っているはずなのに、
日常生活に追われて何
も行動できずにいま
す。個々人だけでは
微力でも想念を一
つにして行動すれば
何であれ実現でき
ないことはありません。



また、英語力もないし、
非社交的な私ですが、
現地の労働組合との
交流会を楽しみに
しています。個人的
に行く観光旅行では
そんな体験はなか
なかできないので
から。

全建労 北川 優子

NPT再検討会議NY行動にむけて のチョコ販売収益状況(中間報告)

2月末現在 209,110円
(引き続きのとりくみをお願いします)



第40回国公女性交流集会開催 決定

先日開催した拡大代表委員会において、第40回国公女性交流集会実施を下記のとおり決定しました。詳細については後日連絡文書を発出します。今回は初の土日開催となります。皆さんでお誘い合わせの上ご参加ください。

日時 2010年5月22日(土)午後
~23日(日)午前

開催場所 長崎県長崎市 「矢太樓」

メインテーマ 「いまひろげよう 連帯の輪」
サブテーマ 「集まれ 大きな井戸端会議」

日程(案)

第1日目 全体会

記念講演 鍋山 祥子
(山口大学 経済学部 准教授)

職場、地域からの報告

アトラクション 夕食交流会

第2日目 分科会・全体会

宿泊費 12,500円(1泊2食)

資料代 1,500円

九州ブロック国公実行委員会も集会成功に向け、物販など計画中です。国公労連HPに実行委員会ニュースをアップしています。活用ください。



各組織の ニュース

☆ 全建労かも

<異業種交流会を開催>

昨年12月4日金曜日、全建労関東地本女性部・青年部では、『手と手をつなげば愛が生まれる』をスローガンに『様々な出会い』そして、『組合活動への理解と協力』をコンセプトとした、異業種交流会を六本木にて開催しました。

参加人数は、総勢94名。北は新潟から南は佐賀までの各地から、年代では20代から50代までの国公労連、国公一般、国土交通共闘の仲間が駆けつけてくれました。また、未加入者や民間からなど、様々な業種の方にも、ご協力及びご参加いただきました。

当日は、小学生高学年レベルの社会科の問題や労働雇用関係に係わるクイズをしたり、『こいわずらい』(バンド名)のバンド演奏やフリートークタイム



など、盛りだくさんの内容で、午後9:00過ぎまで楽しく交流を深めることができました。

今後も、関東地本女性部・青年部では、いろいろな人たちとの交流を深め、輪を広げていくことを目指して、理解・協力そして職場での処遇改善のための活動を続けていきたいと思っています。

- 全建労関東地本女性部 -

☆ 宮城県国公かも

<CEDAW審議と勧告を運動に生かす>

宮城県国公女性協では、定期大会にあわせて講演会を開催しています。今回は全労連女性部常任委員の小澤晴美さんを講師に迎えて、女性差別条約に関する日本政府の第6次報告と女性差別撤廃委員会第4回審議の状況を中心に、はたらく女性を取り巻く現状について、DVD上映も交えてお話しいただきました。

参加者からは、「条約に注目したい」「声をあげる大切さを改めて認識した」などの感想が寄せられました。

- 宮城県国公女性協ニュースから抜粋 -

事務局長のつぶやき

事務局長の橋本です。

先日、初めてヒキニデー集会に参加してきました。

日本各地や海外からも核兵器廃絶を願う人が静岡県焼津市に集まりました。今が核兵器をなくすための絶好のチャンスです。

これから夏に向けて、国内でも憲法集会や平和行進などがとりくまれます。未来を担う子どもたちに平和な世界を残すためにこれらの行動に参加しましょう。

